

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 81 号	氏名	松島 吉宏
学位審査委員	主査	近藤 宇史	
	副査	澄川 耕二	
	副査	江石 清行	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 本研究は、超音波診断装置で測定した頸動脈内膜中膜肥厚(Intima Media Thickness, IMT)の冠動脈硬化における評価と意義を明らかにすることを目的として、臨床症例について詳細な検討を加えたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 冠動脈疾患を疑われ冠動脈造影を施行した205症例を対象として、IMTとともに脈波伝播速度(baPWV)や足首上腕血圧比(ABI)を測定し、冠動脈硬化の進展度としてGensini scoreを用いて比較検討を統計学的に行った。これらの手法は妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、IMTは年齢やHbA1cと正の相関を、HDL-コレステロールとは負の相関を示した。ABIはHDL-コレステロールとは正の相関を示した。baPWVは年齢や収縮期血圧と正の相関を示した。重回帰分析ではGensini scoreとIMTが強い相関を示した。今後、他の非侵襲的測定法との比較しながら、冠動脈硬化の予後予測因子および危険因子についての解析研究を行い、臨床的意義を明らかにすることが期待される。</p> <p>以上のように本論文は冠動脈疾患研究の新展開に貢献することが大であり、審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			